

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

～第13回～

なすまち子どもフェスティバル2015

小学生交流事業

大田原市では、友好親善都市である岡山県井原市と小学生交流事業を行っています。この事業は、「交流・交歓をとおして見聞を広め協調性に富み、広い視野に立って物事を考えることができ、かつ、行動力のある児童の育成」を目的として平成2年から毎年実施され、今年で26回目を迎えました。

今年は8月6日(木)～8月8日(土)に井原市の児童20名が大田原市を訪れ、ふれあいの丘での宿泊学習や日光への観光、与一まつりの流し踊りへの参加などを通して、栃木県や大田原市の文化にふれるとともに、市内の小学生との交流を深めました。この夏の日々は子どもたちにとって、忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。

来年度は、大田原市の児童20名が井原市を訪れることになっています。



とても元気な井原市の子もたち



歓迎式では与一くんも登場!

今年で13回目となる「子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのためのお祭り」である、なすまち子どもフェスティバルが8月2日(日)に開催されました。

子どもフェスティバルは当日の運営はもちろん、準備にも子どもたちが携わっています。町の中高生のボランティア団体であるジュニアリーダースクルの皆さんが中心となって、ステージ発表の企画やどんな出店をしたいか、丸太切りや空き缶積みなどをやるチャレンジコーナーではどんな種目にするかなど、お祭りを盛り上げるために考えてくれました。

当日はステージでバルーンアートの発表や司会・進行を務めたり、かき氷やわたあめなどの出店、チャレンジコーナーでの記録係をするなど大活躍でした。ジュニアリーダースクルの皆さんのアイデアのおかげで、子どもフェスティバルに参加してくれたたくさんの子もたちも笑顔になれました。



JLCのステージ発表



人気のチャレンジコーナー

～新たな友だちと思い出をつくってきました～

7月28日(火)～8月1日(土)の5日間、青少年健全育成事業「洋上北海道学習」が行われました。

参加した小学生たちは親元を離れ、日常とは違った船内での生活や、雄大な自然を肌で感じながら北海道の歴史や文化を学び、一回り成長して帰ってきました。

また、8月6日(木)～7日(金)の2日間、那須塩原市と埼玉県新座市との姉妹都市交流事業「ちびっこふるさと探検隊」が行われました。那須疏水と野火止用水が縁で始まったこの事業に、両市の小学5・6年生併せて17名ずつ、合計34名が参加しました。子どもたちは、日常では味わえない新座市での坐禅体験やうどんづくり体験などを共にしながら、親交を深めて帰ってきました。

今後は、それぞれの事業に参加した児童の代表が、11月に開催される「なすしおばら まなび博覧会(なすお博)」で体験発表を行う予定です。



洋上北海道学習
(白老ポロトコタン)



ちびっこふるさと探検隊
(ひまわりをバックにして撮影)

那須地区PTA指導者研修 I 兼地域アクションミーティング開催

7月29日(水)、那須町文化センターにて平成27年度那須地区PTA指導者研修 I 兼地域アクションミーティングが開催されました。

本年度は、茨城大学大学院教育学研究科准教授 金丸 隆太 氏を講師にお招きし、「いじめ問題の解消を図るために」と題して御講演いただきました。

金丸氏自身スクールカウンセラーとして、日頃から児童・生徒と接している経験や、全国での様々な取組事例、PTA活動における具体例等、大変分かりやすく説明していただきました。講演後は参加者から多くの質問が寄せられ、いじめ問題に対する関心の高さを確認することができました。感想では、「子どもを取り巻く社会について、構造的に理解できた。」、「いじめ解消を図るため、各機関と連携をしていきたい。」などの声が聞かれ、充実した研修となりました。今後も学校、PTA、地域がいじめ問題の解消に向け、より一層連携を強め、子どもたちが安心して学校生活を送れる地域づくりを進めていただければと思います。



講演される金丸氏